

学校支援会報

■平成28年1月12日発行 第9号 ■編集 一関市学校支援室根地或本部署務局（一関市室根市民センター内 TEL:0191-64-2347）



よみがえった黒板 & 掲示板♪

室根中学校で11月27日、加藤孝人さんにボランティアをお願いし、3階の図書室前廊下に設置されている黒板と掲示板の修繕作業をしていただきました。

今回の作業は、板表面の傷みや変色、テープをはがした箇所が跡になって残るなど、傷みが目立つため、できるだけ早く改善したいと学校側から依頼を受けていたものでした。

黒板の修繕は、表面のテープの跡や画鋲の穴などのテコボコをなくすため、表面を削る作業から始めました。丁寧にサンダーをかけた後、マスキング



テープの跡がびっしりの黒板。画鋲の針も抜いて丁寧に下処理

テープと養生テープを貼ってから黒板塗料で筆塗り。その後、ローラーを使って縦横に2度重ね塗りをして完成しました。



黒板塗料を三度重ね塗りし、きれいに復活！



掲示板は新しい

枠に合わせて準備した板を被せ、きれいに合わせた掲示板

板を上から被せる方法で修繕。加藤さんは事前に採寸し自宅で加工・塗装を済ませたペニヤ板を持参。枠に当てはめながらカノナで微調整しました。



掲示板もテープの跡だらけでした

した。古い板に両面テープを貼ってボンドを塗り、上からペニヤ板を被せて貼り付けました。加藤さんは、掲示板用のペニヤ板も自宅で三度重ね塗りのこと。真っ白でもきれいに仕上がりました。後日、ペニヤ板が浮いてはかれないよう、縁取りの板を持参して打ち付けてくださいました。

室根中学校で読書普及員をしている小川山洋さんは「使用するのもったいないくらい」と、とても感激していました。事前準備や自宅作業なども含め、お忙しい中ご協力ありがとうございました。



剪定で庭木スッキリ！

室根東小学校で12月6日と7日、菅原政輔さんに庭木の剪定をしていただきました。

菅原さんは、統合前の浜横沢小学校時代から20年来、植木の剪定をしてくださっています。昨年に引き続き今年もお願ひしたところ、「そろそろ剪定をしながらはと氣にかかっていた」と快く引き受けてくださいました。

菅原さんは「子どもが好きだからね」と優しい眼差しで子どもたちとのエピソードを話しながら、天候



スッキリ気持ちよく剪定された庭木

を見て作業する日を計画。6日は風が強かったため比較的背の低い職員室前の庭木を剪定。



松を剪定する菅原さん

7日は校舎東側の松の木を剪定していただきました。前日より風は穏やかでしたが、太陽が雲に隠れるとひんやり。時折風も吹く寒い中、早朝からほぼ一日作業をしていただき、おかげで校庭の庭木は見違えるほどスッキリしました。

学校や子どもたちのためにと、お忙しい中、雪が降り始める前に作業してくださいました。本当にありがとうございました。

後世に伝える1,300年の歴史

室根東小学校で12月4日、室根町史談会会長の千葉栄一さんを講師に、3年生18人を対象とした「室根神社特別大祭」の学習が行われました。

室根東小学校の学区にも、お祭りを支える様々な役割を担っている地区や家庭も多く、身近に感じている子どもたちもたくさんいます。今回学習を行った3年生の中には『舞姫』としてお祭りに参加した子どもたちもいました。

千葉さんは、黒板に室根大祭の歴史を年表で示したり、室根神社や御袋神社に祭られている神様の名前を書いたりしながら子どもたちの質問にも答え、分かりやすく説明してくださいました。

子どもたちは『本宮（神社）』と『新宮（神社）』の違いや神輿の担ぎ手となる『陸尺』、『御袋神社』の由来、『荒馬先陣』『鬘先陣』『舞姫』など、祭りの役割について詳しく知ることができました。特に



小学3年生にも分かりやすく説明